

## 上場営農センターの沿革

昭和 13 年 4 月	佐賀県種牡牛種付所を打上村加倉に設置
昭和 14 年 4 月	佐賀県種畜場唐津分場と改称し、唐津市枝去木に移転
昭和 25 年 4 月	佐賀県輸出農産物増殖指導所を打上村菖蒲に設置
昭和 32 年 8 月	佐賀県輸出農産物増殖指導所を併合するとともに種畜場唐津分場を廃止して、佐賀県畑地営農指導所を唐津市枝去木に設置
昭和 36 年 1 月	畑地営農指導所内に上場(うわば)青年研修所が発足
昭和 38 年 8 月	庶務係、教務主任、特産園芸係、畜産係を設置
昭和 41 年 3 月	上場青年研修所が廃止、以降は畑地営農指導所研修寮に移管
昭和 44 年 4 月	佐賀県農業研修学園畑作専門課程として後継者育成開始
昭和 47 年 4 月	重粘土地帯における畑作酪農経営技術実用化組立て実証試験のため乳牛 30 頭を導入
昭和 48 年 4 月	薬用植物導入試験を九州大学薬学部と開始
昭和 49 年 6 月	佐賀地方気象台が気象業務雨量観測所を設置
昭和 51 年 4 月	佐賀県農業大学校長研修生の教育を開始
昭和 52 年 3 月	重粘土地帯における畑作酪農経営技術実用化組立て実証試験終了にともない、乳牛 16 頭を飼養する畜産試験に移行 佐賀地方気象台が有線ロボット気象観測装置を設置
昭和 53 年 4 月	昭和 48 年から開始された上場地区土地改良事業によって開発される広大な農地における農産物(果樹、野菜、特用作物および畜産等)の生産安定と農業所得の向上に寄与するため、従来の畑地営農指導所を佐賀県畑作試験場に拡大改組し、庶務室、畑作物研究室、畑作経営研究室を設置
平成 2 年 4 月	上場地区土地改良事業の効果を活かした新たな営農展開を促進するために、営農に関する試験研究、現地調査および普及指導を一体的に行い、営農確立を図ることを目的として、従来の畑作試験場を研究と普及を一体化した佐賀県上場営農センターに改組し、調整部、研究部(畑作研究室、畜産・経営研究室)、普及部を設置
平成 5 年 4 月	研究室を畑作・経営研究室、畜産・果樹研究室に改組
平成 10 年 4 月	調整部を廃止し、庶務室を設置
平成 16 年 4 月	研究室を廃止し、研究担当制へ移行
平成 22 年 2 月	アメダス移設(唐津市二太子西唐津中学校敷地に移転)
平成 28 年 3 月	環境制御型カンキツ貯蔵庫を新築
平成 28 年 4 月	畑作・経営研究担当を畑作・野菜研究担当に名称変更
令和 3 年 4 月	普及部(本務:東松浦農業改良普及センター上場振興担当)が唐津総合庁舎に移転